



## 移住者インタビュー Interview 3

名前：山口 俊一さん  
出身地：鹿児島市  
現住所：黒島 片泊地区

### ●移住のきっかけや経緯について

Yターン(妻の実家が黒島で、島に移住すること)で島にきました。妻の父親が、片泊地区の区長をつとめており、区長に声をかけられたのがきっかけとなりました。島に来るまでは共働きで、子供と過ごす時間がほとんどなかったのですが、島では一緒に過ごせる時間が多くとれると思い、移住を決断しました。

### ●移住して良かったところ、困ること

良かった点は、子供達と過ごす時間が増えたところです。また、学校の子供の人数が少ないので、先生方からマンツーマンに近い授業が受けられるところも良い点です。不満なところは、自然環境が厳しいところなので、台風などの自然災害の被害にあいやすいところです。

### ●新たな取り組みについて

民宿のホームページを開設して、大勢の人に知ってもらうことで、来客数を増やすようにしました。畜産については、家族全員で協力して、質の良い牛を生産していきたいです。

### ●将来のイメージ

この島には高校がないので、この島でしかできない色々な体験を子供達にさせて、立派に巣立させていきたいです。また、自分達が地区を盛り上げていくことで、若い人たちが移住しやすい環境をつくっていきたいです。



山口さんご家族

### ●現在のくらしについて

現在は、民宿と畜産農家をしています。民宿のお客さんは、観光客や仕事で訪れる業者の方が多く、家族全員で仕事を分担しながら協力をして、仲良くやっています。畜産は未経験でしたが、先輩方など周りの人に支えられ、日々勉強しながら、畜産農家としての生活を送っています。

### ●困っていること・不便なこと

大きな病院がないので、特に子供の病気や怪我に対しては不安があります。ですが、日赤の先生方の巡回診療や、診療所の看護師さんなどが、親身になって適切な対応をしてくださるので心強いです。不便なところは、商店がないので、直接商品を見て買うことができないところですが、三島村はインターネットが整備されており、各家庭にネット回線があるため、ネットスーパーなどが利用できるのです。そこまでの不便は感じなくなりました。

### 移住希望者へのアドバイス

まずは、島に実際に来るのが一番です。ホームページや写真などではわからない部分もたくさんあるので、実際に島に行って、島の方とお話をしたり、島の雰囲気を感じた方が良いでしょう。離島なので、都会とは違い、不便なことが多いので、その点を自分が受け入れられるのかをしっかりと考え、決断した方が良いでしょうと思います。

## 移住者インタビュー Interview 4

名前：糸繰慎也さん  
出身地：鹿児島県 曾於市  
現住所：黒島 片泊地区



### ●移住のきっかけや経緯について

息子が喘息だったため、空気がきれいな所に住みたいと思い、ホームページの移住情報を見て、離島である三島村に決めました。仕事の面では、しおかぜ留学生(しおかぜ留学生制度については34ページ)の里親を募集しており、また畜産業が盛んで、畜産に向いている環境だったので、移住することにしました。

### ●移住して良かったところ、困ること

よかった点は、小さな村だからこそ、役場の人たちが地区の方々がより身近に感じられるので、とても心強く、島の方々から沢山のことを教えてもらいながら、日々楽しく暮らしているところです。不満な点は、医療関係の設備などが充実していないところです。

### ●困っていること・不便なこと

子供がいるので、緊急の時の怪我や病気などのときに、ヘリやみしまⅡ(漁船のチャーター便)での搬送となるので、天候に左右されやすく、時間がかかるところが、不便で心配な点です。

### ●新たな取り組みについて

新たにはじめたことばかりで、すべてが新鮮なので、色々なことを吸収して島で生かしていきたいです。

### ●将来のイメージ

畜産では、人工授精の資格も取得したので、今後は、削除などの資格も取得していきながら、牛の頭数を増やしつつ、より良い牛が出荷できるように努力を続けていきたいです。また、里親では、しおかぜ留学生として島に来てくれた子供達を、黒島に来て良かったと思えるように楽しみたいです。

### ●現在のくらしについて

現在は、しおかぜ留学生の里親として、島に来ている子供たちの悩みなどの相談を受けたり、休日は子供達と遊んだりして、充実した島での生活を送ることができています。また、畜産農家も始めて、里親との両立は大変ですが、充実した生活を送っています。

### 移住希望者へのアドバイス

楽しいことばかりの毎日ではないですが、充実した島民生活を送るためには、気になることはあらかじめ役場職員の方々の、見学に来た際に地区の方々にいろいろな質問をしたり、自分の目で見て決めた方が良いでしょうと思います。



糸繰さんご家族